

特別スクール

GK・フットサルスクールについて

【GKスクール内容について】

GKがうまくなりたい！試合のスキルを上げたい！専門的な技術を教えてもらいたい！など、「全国でも通用するGK」を目標とした育成トレーニングをし、育成年代であるGKのレベルアップ強化を目的とする。勿論、専門の指導者が指導します。

日本サッカー協会指導指針・Jリーグ育成講習会・柏レイソル指導方針を学習のもと、プレーを細分化してトレーニングを行い、試合で起こりうるプレーに対する独自のトレーニングやアジリティ・フィジカルの強化、コーチング、PK理論を指導します。

また、サッカーに対する姿勢、GKとしてのあり方、礼儀、マナーなど内面的な指導にも取り組んでいきます。

【詳細】

3・4年生 毎週水曜日 18:40～20:40

5・6年生 毎週水曜日 18:40～20:40

※水曜日が祝日と重なった場合もお休みにはなりません。

【会場】 カネイ体育館

【持ち物】 フットサルシューズ（靴裏があめ色の物に限る）、GKグローブ、すね当て、飲み物

【フットサルスクール内容について】

サッカーでは相手陣内でボールを取られた場合には「相手がゴールまでボールを運ぶ時間」に少し余裕があります。しかし、フットサルではその時間はほとんどありません。

少しでも気を抜いてたり、縦パスのコースを空けてしまった場合には、すぐに自分たちのゴール前までボールを運ばれてしまいます。その為に、急いで自陣までプレスバックする必要がありますし、ボールを奪われたらすぐに相手にアプローチする対応の早さも重要です。攻撃面ではサッカーという「前線の崩し/フィニッシュ（シュート）」など俊敏性が必要な場面が多く経験できると思います。

また、このコースではスペイン研修で習得したひし形でのポゼッションを実施してみたいと考えています。ひし形でのポゼッションでは「幅と深み/実際のゲーム場面を想定しやすい/ゲームの流れを読む力/ボールタッチ数が多い/ノープランの選手が減る/実践感覚（ゲームの流れを読む力）が養われる。」などの良い効果がある。現5・6年生でも実施した結果、最終的にはサッカー一年齢が大幅にアップした。

しかし、一方ではデメリットもあります。「コートが狭いので視野が狭くなってしまふ。/ロング

キックに慣れていない。/ヘディングする機会が少ない。/自陣でのゆっくりしたビルドアップができない。/浮き球の処理に慣れていない。」などです。

このデメリットは、週5回中の週1回のフットサルではそこまで悪い影響は無いかと思います。結論 20%のフットサルトレーニングであれば大丈夫であろうという結論に至りました。1V S 1の攻防に弱い選手、トランジッション（攻守の切り替え）が遅い、スプリントが苦手、動きが単調、左右の足を平等に使いたい、という悩みをもった選手には最適です。是非、ご検討ください。

【詳細について】

1・2年生 毎週月曜日 18:40~20:40 定員 20名

3・4年生 毎週水曜日 18:40~20:40 定員 15名

5・6年生 毎週水曜日 18:40~20:40 定員 15名

※月・水曜日が祝日と重なった場合もお休みにはなりません。

【会場】 アネルフットパーク白子

【持ち物】 フットサルシューズ（靴裏があめ色の物に限る）、すね当て、飲み物